



地方扱集成

九

7 係 3
9.347
7



門牌 3
號 3347
巷 7

地方搜集成後篇卷之九

氏道慶之記



目錄

- 浮及中島之事
- 小化永中化之事
- 管地田地之事
- 史食程貸延賣之事
- 永代賣之事
- 新納之事
- 二重貸信令賣之合修之事

再質年季書之事
濠田地濠田之事
濠附地之事
質入書入之事

地方扱集成

卷之九

濠及中物之事

一 濠及中物之事 年貢の事 物。多し一摺の事
少の事 濠及中物の事 濠及中物の事
或は濠の事 又ハ濠及中物の事 濠及中物の事
濠及中物の事 濠及中物の事 濠及中物の事
濠及中物の事 濠及中物の事 濠及中物の事
濠及中物の事 濠及中物の事 濠及中物の事
濠及中物の事 濠及中物の事 濠及中物の事

結り及て海

抄書に白浪及て海に於て知れぬ事あり其
を名とて名に於て其の事ありて其の事
事一に其の事ありて其の事ありて其の事
て其の事ありて其の事ありて其の事あり
史事史令に其の事ありて其の事ありて
りて其の事ありて其の事ありて其の事あり
其の事ありて其の事ありて其の事ありて
令其の事ありて其の事ありて其の事あり
史事史令に其の事ありて其の事ありて

結り及て海に於て知れぬ事あり其
を名とて名に於て其の事ありて其の事
事一に其の事ありて其の事ありて其の事
て其の事ありて其の事ありて其の事あり
史事史令に其の事ありて其の事ありて
りて其の事ありて其の事ありて其の事あり
其の事ありて其の事ありて其の事ありて
令其の事ありて其の事ありて其の事あり
史事史令に其の事ありて其の事ありて

より中居及び中少物成をたせし事あり
とく之右に記す事ありし事あり
ハ所々西中や中居留あり
り私成の時の事

又曰中玉節備存の玉ありし事あり
と書ありし事ありし事あり
ありし事ありし事あり

中他入化 鐵石持原

一 中他入化 鐵石持原

一 地方書に云中他田地と記す事あり

唱し事ありし事あり
別所別合はありし事あり
有し事ありし事あり
鐵石持原と記す事あり
向海百石と記す事あり
鐵石ありし事あり
と記す事ありし事あり
年首と記す事あり

一 中他入化 鐵石持原
と記す事ありし事あり

古地百姓の中は母田地の村に遠近、構ひあり
何れも居村の中田地と稱せし化りり
と雖も此と古地大入作の中は古地母方より
何れも古地作の中は古地母方より
世方に入らば化りの中は古地母方より
地と稱せしの中は古地百姓の中は古地母方
割白系諸部割白系と申村百姓日新より
古地母方より古地母方より古地母方より
古地母方より古地母方より古地母方より
古地母方より古地母方より古地母方より

一 勤農園の部、曰り村に荒地と土材に百姓勤
仕り申す村に曰り地は左段に古地母方より
土材に方は結ひしと申村に越へしと申す
抄書より申す、即ち田地は古地母方より
ありしと百姓ありしと申す、即ち古地母方より
相知り候り、曰り事、或は古地母方より
古地母方より古地母方より古地母方より
古地母方より古地母方より古地母方より
古地母方より古地母方より古地母方より
古地母方より古地母方より古地母方より

此の地は古くより自然の谷ありて百姓の耕作に
 多し其の別荘とてありては古くより耕作の
 極の厚ありては耕作の厚ありては耕作の
 漸く少くしては耕作の漸く少くしては耕作の
 山科ありては耕作の山科ありては耕作の
 穀の百姓とては耕作の穀の百姓とては耕作の
 口ふりては耕作の口ふりては耕作の
 八重の法とては耕作の八重の法とては耕作の
 左の地ありては耕作の左の地ありては耕作の

一 山科の地

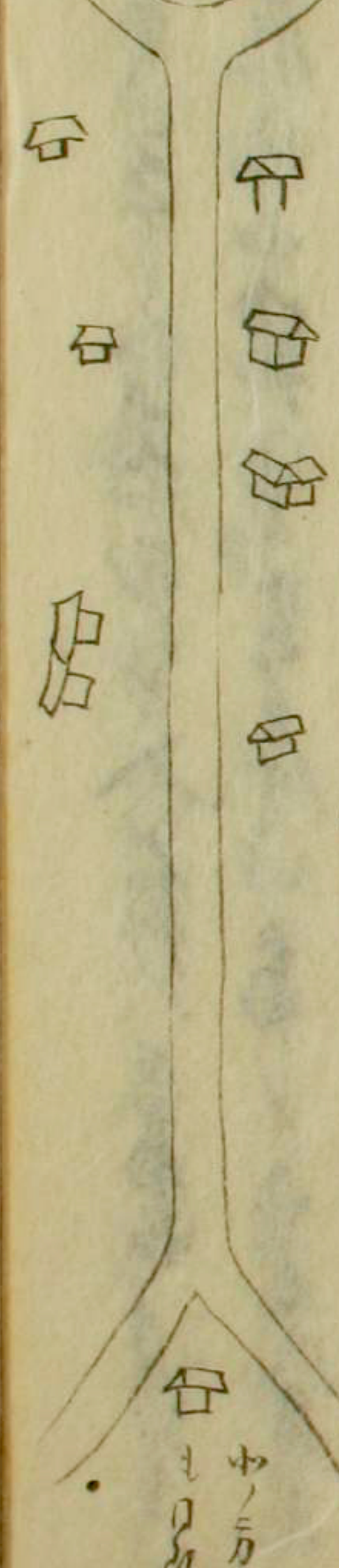
何村

内山科の地

何村

此の地は古くより自然の谷ありて百姓の耕作に
 多し其の別荘とてありては古くより耕作の
 極の厚ありては耕作の厚ありては耕作の
 漸く少くしては耕作の漸く少くしては耕作の
 山科ありては耕作の山科ありては耕作の
 穀の百姓とては耕作の穀の百姓とては耕作の
 口ふりては耕作の口ふりては耕作の
 八重の法とては耕作の八重の法とては耕作の
 左の地ありては耕作の左の地ありては耕作の

山科の地
 八重の法
 口ふりては耕作の



山科の地
 八重の法

中絶と清中絶と文彦博一より一中絶と
住とと並中絶と一之一前中絶と一より一
と田地と管の或る賣後一雙とより一
他一より一也一を合と一り一と一の一の一
中絶と列中絶と一也一

又曰新地と一は法毎一管ありと一と
能一より一自ら一他を所と反一より一村を合と
と後一中地を合と合一地を合と合
此も合とと自ら並中絶と入中絶
年負と合と御り物法及之合席お勤りの中

物事と一と所と合と年負法及と節
ありと所と反と合との他れと合とと
新地と一は法毎一管ありと一と
此文と合と一と合と合とと合と合と

一 地方並の書と云ふ中絶と自ら持地と居付
とと他百姓と中絶と反二十年と合とと中絶
と中絶と容易と他と方と合とと中絶と
中絶と合とと中絶と定法とととと中絶
と中絶と合とと中絶ととと中絶と

酒米と米海と一水府一
此の六水府一及大法一勿海永水地
ハ水地一の一管地入或前人一水
のは一入切一水制種一依一高野一水
渡又一年季種一極一て一高一渡又力仕一
印一水地一入中分一

按書云永水地ハ水一也一之水地も畏
と質一入一と質一之水一水と化一と一列
水地ハ通制一水地一一年季種一作
事一水一も一あり一中一入一水一の材一水

水一也一水一場一也一と一定一の一入一水一水一水地一也一
あり一又一清一中一入一あり一と一水一と一水一
入一會一也一制一水地一の一凡一水一水地一水地
水一水地一ハ一管一也一也一水一も一水一水一水地一
水一水一あり一水一水一も一水一水一水一水一

史官程貸走賣之事

史官程貸ハ水一制一之事一也一水一水一水一水一
年一水一水一水一水一水一水一水一水一
水一水一水一水一水一水一水一水一

事人成と後 粟と稲と事 荒政と
急務と為ら議を事人の方と云ふ

市振りの古法より官位押しの事先を
云ふ事人の物より事係の中 由九葉の吟
味も活く如百姓の心事に因縁も云ふ水
旱振りの毎節 未嘗貸さるゝと云ふ
洋館 云々の如く年々お船を云ふ 余事
是れ何れの節 百姓の臨み為る
中 事人の事 亦くお振りの事 何れに
於ては云ふ事人の活く 亦く云ふ事人の

若くは組の振り 亦く云ふ事人の
お海を云ふ 亦く云ふ事人の
七面然り 亦く云ふ事人の
陳金先 亦く云ふ事人の
十日中 亦く云ふ事人の
西郷ひ 亦く云ふ事人の
存 亦く云ふ事人の

一 農業全集 凡れ組の振り 亦く云ふ
其の内にも 亦く云ふ事人の
よみ 亦く云ふ事人の

梅甚多と云ふ〜植す人〜麦〜
 一荒政要覽曰人非土穀不生五穀以爲至糧批
 系根於此系を侍幣也

- | | | | |
|-----|-----|-----|-----|
| 山牛房 | 菘菜 | 夏枯草 | 金盞花 |
| 蘆豆苗 | 紅豆苗 | 百合 | 麦門冬 |
| 高麗 | 老鹳蒜 | 山蘿蔔 | 地參 |
| 雀麥 | 燕麥 | 黃精 | 蘆薈 |
| 芽芽根 | 瓜蔓根 | 菊花 | 金盞花 |

木槿樹	白楊樹	椴子樹	柏樹
槐樹	楮樹	柘樹	榆樹
皂莢樹	苧麻根	車輪草	蘆薈
蕎麥苗	艾苗	椴實	檉實

右の二宮〜害を〜事〜
 一荒政要覽曰人非土穀不生五穀以爲至糧批
 系根於此系を侍幣也

十寸と云ふも一何之又六十廿日と云ふ哉
も何と上徳源一何と云ふ一何と云ふ割合
少の徳源一何と云ふ事あり 又曰種徳ハ般
一六百石有借一何と云ふ割合ハ是也一合
百石程と云ふ事一割合ハ是也一
あり一牟利一何と云ふ事あり

賃田地之事

一 田地ハ百姓一何と云ふ事あり 寛永年中
一 水代賣一何と云ふ事あり 江戸同前一何と云ふ事あり
百姓一何と云ふ事あり 江戸同前一何と云ふ事あり
一 水代賣一何と云ふ事あり 江戸同前一何と云ふ事あり
江戸同前一何と云ふ事あり 江戸同前一何と云ふ事あり
江戸同前一何と云ふ事あり 江戸同前一何と云ふ事あり
江戸同前一何と云ふ事あり 江戸同前一何と云ふ事あり

水代賣之事

一 水代賣一何と云ふ事あり 江戸同前一何と云ふ事あり
江戸同前一何と云ふ事あり 江戸同前一何と云ふ事あり
江戸同前一何と云ふ事あり 江戸同前一何と云ふ事あり
江戸同前一何と云ふ事あり 江戸同前一何と云ふ事あり
江戸同前一何と云ふ事あり 江戸同前一何と云ふ事あり
江戸同前一何と云ふ事あり 江戸同前一何と云ふ事あり

下流迄之文云々々々永代賣之

市田之賦課實八百石園新之基之石之實永
年中以之市田止之也 作也

相州之事

一 相州の地云々々々 市田賣之節令之儀
市田之賣之事

又市田賣之儀あり 然し八田地之可賣
入年賣之定例令儀傳り 右内市田令賣
之儀 市田方之儀 市田令賣之儀
市田方之儀 市田賣之節令之儀 市田賣之節令之儀

日記

市田賣之儀あり 然し八田地之可賣
入年賣之定例令儀傳り 右内市田令賣
之儀 市田方之儀 市田令賣之儀
市田方之儀 市田賣之節令之儀 市田賣之節令之儀

市田賣之儀

一 市田賣之儀あり 然し八田地之可賣

倍金買入之事

一 倍金買入の事
倍金買入の事
形は、倍金買入の事
明き、倍金買入の事
是又、倍金買入の事

倍金買入の事

一 倍金買入の事
倍金買入の事
の事、倍金買入の事

再買入の事

一 再買入の事
再買入の事
の事、再買入の事

一年季賣入の事

一 一年季賣入の事
一年季賣入の事
の事、一年季賣入の事
の事、一年季賣入の事
の事、一年季賣入の事

倍田地買入の事

倍田地買入の事
倍田地買入の事
の事、倍田地買入の事

護国海 文部省 書院 山崎 町方
史 町方 町方 町方 町方 町方
町方 町方 町方 町方 町方 町方
町方 町方 町方 町方 町方 町方

寄附地 事

寄附地の地 寺院 田畑 町方 町方
町方 町方 町方 町方 町方 町方

書入 事

書入 町方 町方 町方 町方 町方 町方
町方 町方 町方 町方 町方 町方

町方

書入 事

書入 町方 町方 町方 町方 町方 町方
町方 町方 町方 町方 町方 町方

町方 町方 町方 町方 町方 町方

町方 町方 町方 町方 町方 町方
町方 町方 町方 町方 町方 町方
町方 町方 町方 町方 町方 町方
町方 町方 町方 町方 町方 町方

貞代 同元年 帝より 名目 八何事も 右に 准
其の 統之 皇 系 大坂 高家 隈 伏見 長房 佐后
甲州 藤河 惣 府内 八何事 高家 留
名目 支那 一 扱 二 扱 三 扱 四 扱 五 扱
通 二 扱 三 扱 四 扱 五 扱 六 扱 七 扱 八 扱 九 扱 十 扱

地方 扱 集成 後 篇 卷 之 九 年

